

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

○注意力欠如、焦り等の対策について

救急車から傷病者を搬出する時は、ストレッチャーの両サイドの手すりを確実に保持しながら、ゆっくりと引き出し、ストレッチャーの後脚及び前脚が伸びきったことを確認し、「足確認よし」と声で確認し隊員間の連携をとることにした。

○装備・資機材の対策について

トランスポーター及びストレッチャーの作動を毎朝点検し、月 1 回にグリース等を注油する。
スカフストリップの摩耗状況に注意する。

○活動環境の対策について

傷病者を救急車から出す場合、救急現場及び病院においても活動するのに十分な場所が確保されている場所を選択する。

○指揮・情報伝達の対策について

頭部側の隊員の合図により、他の 2 名は「確保よし」の合図する。隊長の「搬出始め」で足部側の隊員が引き出す。隊長の「止まれ」の合図で停止し、前脚が伸び始めるのを確認する。その後、2 名がストレッチャー両サイドの手すり確実に保持し前脚が伸びきるのを確認する。

